

| | |
|-------|-------|
| 普及項目 | 養殖 |
| 漁業種類等 | 養殖業 |
| 対象魚類 | ノリ |
| 対象海域 | 熊本有明海 |

ノリ養殖の生産指導及び養殖状況調査

県北広域本部水産課・内川 純一

【背景・目的】

ノリは約 100 億円の生産額を誇る本県の主要水産物で、ノリ養殖業の振興は当該地域のみならず、本県水産業の重要課題となっている。

そこで、本調査により管内のノリ養殖等の状況を正確に把握し、ノリ生産者及び関係機関への迅速で的確な情報提供・指導を行うことで、ノリ生産者の養殖管理に役立てるとともに、ノリ養殖の安定生産に資することを目的とした。

【普及の内容・特徴】

(1) カキ殻検鏡及び指導（令和 2 年（2020 年）10 月 1 日～10 月 12 日）

カキ殻検鏡を実施し、ノリ糸状体の孢子嚢形成・成熟状況を把握するとともに、生産者にカキ殻の管理指導を行った。

(2) 芽付け検鏡巡回指導（令和 2 年（2020 年）10 月 19 日～30 日）

各漁協で実施される芽付け検鏡において、県漁連及び熊本市と連携して、生産者への指導・助言、芽付き情報の収集を行った。

(3) ノリ養殖状況調査（令和 2 年（2020 年）10 月 29 日～令和 3 年（2021 年）2 月 25 日）

県漁連及び熊本市と合同で管内ノリ養殖場を巡回し、環境測定（水温、比重、プランクトン量）及びノリ葉体を採集のうえ病害等について検鏡を行った。その結果は「ノリ養殖速報」として調査当日に管内漁協及び関係機関等に情報提供した。

【成果・活用】

カキ殻検鏡により得られたカキ殻糸状体に関する情報は、関係機関と共有し、種付け日、養殖スケジュール（環境適応型ノリ養殖）の検討に活用した。

芽付け検鏡巡回指導については、漁協職員等と芽数のチェックをすることで、現場の検鏡精度の均一化・向上に貢献すると共に、その後の養殖指導に役立った。

養殖状況調査では、関係機関が協力し実施したことで、即時に情報や問題点の共有化ができ、より適切な指導内容となった。また、得られた情報は、関係機関に迅速に提供し、生産者が生産現場で的確且つ迅速に対応できるようにした。なお、今漁期も昨年に引き続き、管内全漁協が一斉に秋芽網を撤去することができ、赤ぐされ病等の蔓延が軽減され、冷凍網の生産に繋がった。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）



図1 カキ殻検鏡巡回指導



図2 芽付け検鏡巡回指導



図4 ノリ葉体サンプル採取

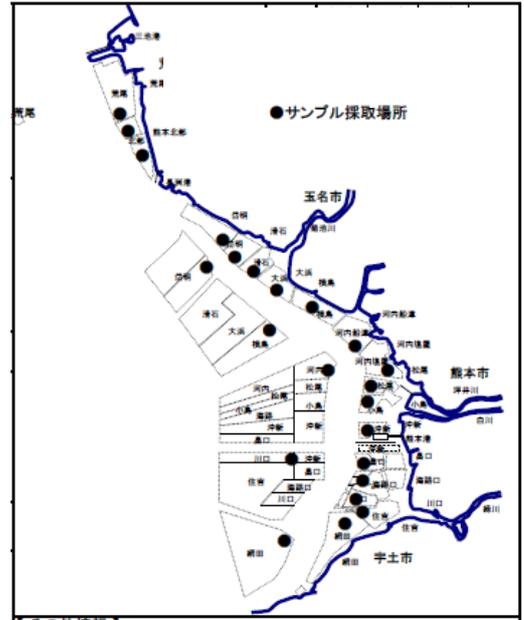


図3 ノリ養殖状況調査場所



図5 プランクトン採集



図6 プランクトン濃縮



図7 水質観測



図8 水質観測



図9 ノリ葉体及び
プランクトンの検鏡